

土地の所在

高松市多肥上町字彦作 2010-1、2010-3、2010-4、2014-4、2015-5、2015-6、2016-2、2017-2、2018-1
高松市三谷町字南原 1667-1、1670、1672-2
及び地先農道・水路、市道

土地利用計画図

開発許可
年月日

第

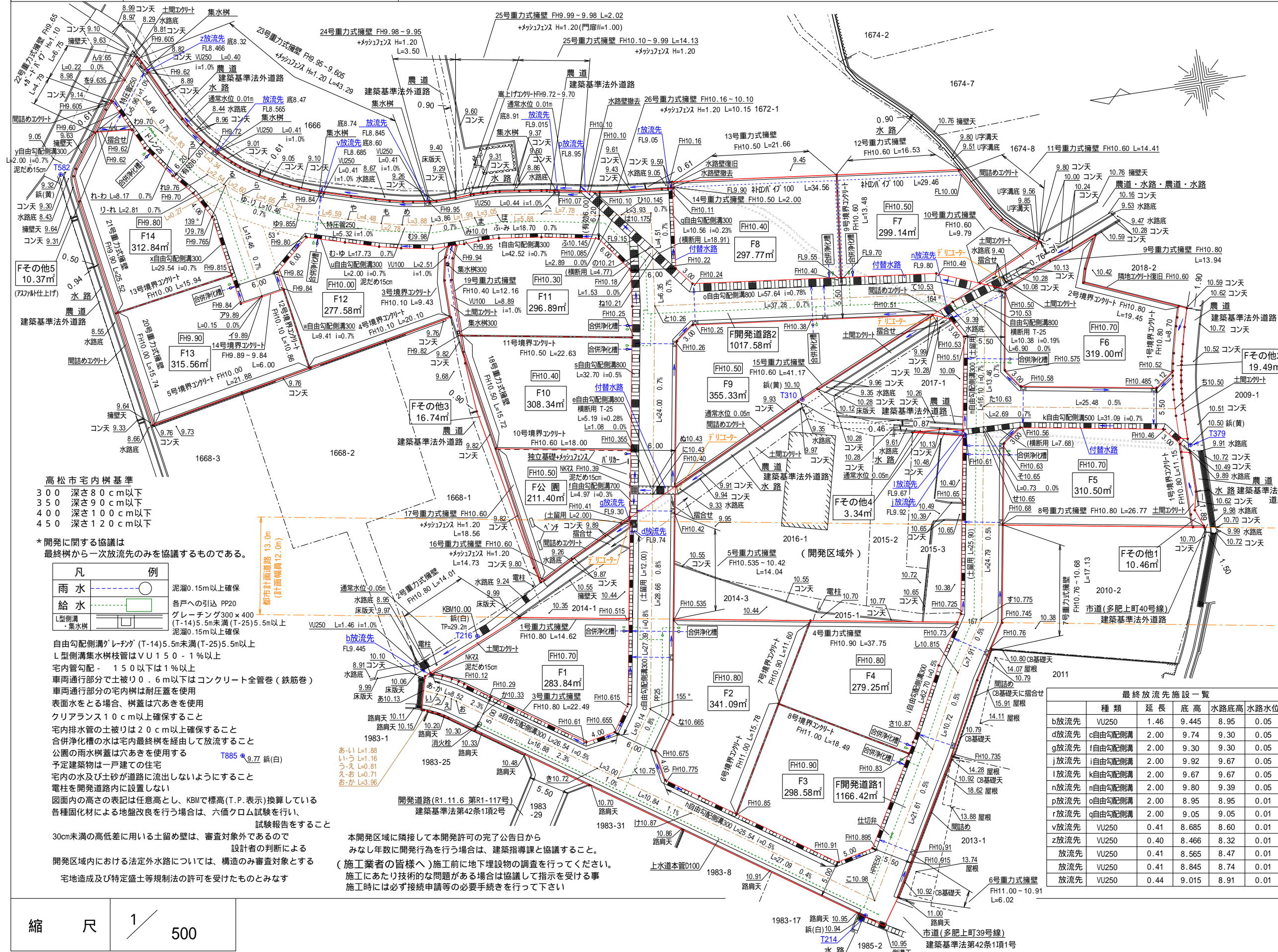
号

申請者

株式会社
フロムファースト・HD
代表取締役 佐野 由紀子

作成者
住所・氏名

高松市春日町1643番地9
行政書士 石井正志



高松市内樹基準
 300 深さ80cm以下
 350 深さ90cm以下
 400 深さ100cm以下
 450 深さ120cm以下

*開発に関する協議は
 最終樹から一次放流先のみを協議するものである。

凡	例
雨水	泥溜り.15m以上確保
給水	各戸への引込 PP20
L型側溝・集水溝	グレーチング300x400 (T-14)5.5m未満 (T-25)5.5m以上 泥溜り.15m以上確保

自由勾配側溝グレーチング (T-14)5.5m未満 (T-25)5.5m以上
 L型側溝集水溝枝管はVU150-1%以上
 宅内管勾配 - 150以下は1%以上
 車両通行部分で土被り0.6m以下はコンクリート全管巻 (鉄筋巻)
 車両通行部分の宅内樹は耐圧蓋を使用
 表面水をとる場合、樹蓋は穴あきを使用
 クリアランス10cm以上確保すること
 宅内排水管の土被りは20cm以上確保すること
 合併浄化槽の水は宅内最終樹を経由して放流すること
 公園の雨水樹蓋は穴あきを使用する T885φ9.77 紙(白)
 予定建築物は一戸建ての住宅
 宅内の水及び土砂が道路に流出しないようにすること
 電柱を開発道路内に設置しない

図面内の高さの表記は任意高とし、KBMで標高(T.P.表示)換算している
 各種固化材による地盤改良を行う場合は、六価クロム試験を行い、
 試験報告をすること

30cm未満の高低差に用いる土留め壁は、審査対象外であるので
 設計者の判断による
 開発区域内における法定外水路については、構造のみ審査対象とする
 宅地造成及び特定盛土等規制法の許可を受けたものとみなす

本開発区域に隣接して本開発許可の完了公告日から
 みなし年数に開発行為を行う場合は、建築指導課と協議すること。
 (施工業者の皆様へ) 施工前に地下埋設物の調査を行ってください。
 施工にあたり技術的な問題がある場合は協議して指示を受ける事
 施工時には必ず接続申請等の必要手続きを行ってください

種類	延長	底高	水路底高	水路水位	
b放流先	VU250	1.46	9.445	8.95	0.05
d放流先	c自由勾配側溝	2.00	9.74	9.30	0.05
g放流先	f自由勾配側溝	2.00	9.30	9.30	0.05
i放流先	i自由勾配側溝	2.00	9.92	9.67	0.05
l放流先	k自由勾配側溝	2.00	9.67	9.67	0.05
n放流先	m自由勾配側溝	2.00	9.80	9.39	0.05
p放流先	o自由勾配側溝	2.00	8.95	8.95	0.01
r放流先	q自由勾配側溝	2.00	9.05	9.05	0.01
v放流先	VU250	0.41	8.685	8.60	0.01
z放流先	VU250	0.40	8.466	8.32	0.01
放流先	VU250	0.41	8.565	8.47	0.01
放流先	VU250	0.41	8.845	8.74	0.01
放流先	VU250	0.44	9.015	8.91	0.01

縮尺 1/500